

率が良くなり、レシピエントの高齢化に伴い、心・血管系の合併症や悪性腫瘍（癌）の検診の重要性が高まっています。今後、長期成績の改善には移植後の十分なフォローアップが不可欠です。

近年、人工透析導入の原疾患の第一位は糖尿病です。糖尿病で透析導入した患者の5年生存率は50%弱であり、他の原疾患に比べ成績が不良です。特に1型糖尿病腎不全の患者さんには腎移植と同時に、膵臓移植を行う場合があります。私は現在日本の脳死膵臓移植ナショナルチームのリーダーをしており、既に脳死膵臓移植と生体膵臓移植を合わせて36例執刀いたしました。膵臓移植の約80%は膵・腎同時移植です。また膵臓から膵ランゲルハンス島という細胞を取り出して、点滴で肝臓の門脈内に移植する「膵島移植」も手掛けております。膵島移植は膵臓移植に比較して、患者さんの負担も軽く安全性が高いため、膵臓移植に代わり得る治療法として期待されています。現在藤田保健衛生大学病院では、膵島移植の実施準備を進めております。

現在透析を受けていらっしゃる皆様、日本の透析技術は世界一であり、安心できるものです。しかし、週に3回の時間の制約があることや、種々の水分、食事制限があること、またどうしても動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳梗塞などの心・血管系の障害が出やすいことなどは避けられません。現在、腎移植の成績は格段に向上し、生体のドナーがいらっしゃる方は血液型が違って同じ成績で移植が可能です。是非とも私たちにご相談いただければいつでも説明いたします。献腎移植登録、脳死膵臓移植登録、生体腎移植の相談、生体膵臓移植の相談、質問のご連絡先は下記までお願いします。

.....
藤田保健衛生大学病院 移植医療支援室

☎ & FAX(直通):0562-93-2013

E-mail:ishoku14@fujita-hu.ac.jp

移植コーディネーター:林 未佳子(mikemike@fujita-hu.ac.jp)

室長:剣持 敬(kenmochi@fujita-hu.ac.jp)

秘書:太田小百合(sota@fujita-hu.ac.jp)
.....

または

.....
名古屋共立クリニック診療予約センター 052-362-9100

臓器移植外来(腎臓移植):医師 剣持 敬

毎月第2、4火曜日 午後1時~
.....